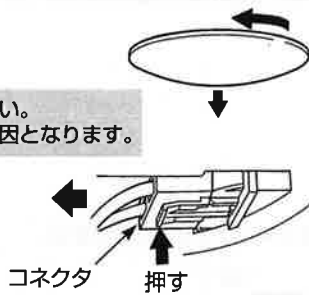
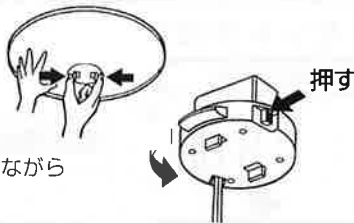
器具のはずしかた　必ず電源を切って本体やLED光源が冷えてから行ってください。

■カバーのはずしかた
カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

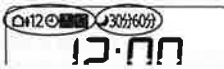
■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

押す

※ボタンを押さずにアダプタを回すと引掛シーリングが破損します。

定　格

形式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力		入力電流
弊社形式 HLDCB＊＊＊＊ SLDCB＊＊＊＊	AC100V	50Hz / 60Hz	43W（ナチュラルモード）	アクティブモード時 30W リラックスモード時 13W 常夜灯のみ点灯時 約2W リモコンOFF時 1W以下	0.44A
弊社形式 HLDCC＊＊＊＊ SLDCC＊＊＊＊	AC100V	50Hz / 60Hz	50W（ナチュラルモード）	アクティブモード時 35W リラックスモード時 15W 常夜灯のみ点灯時 約2W リモコンOFF時 1W以下	0.51A
弊社形式 HLDCD＊＊＊＊ SLDCD＊＊＊＊	AC100V	50Hz / 60Hz	57W（ナチュラルモード）	アクティブモード時 40W リラックスモード時 17W 常夜灯のみ点灯時 約2W リモコンOFF時 1W以下	0.58A

LED照明器具の光源の推定寿命は、40000時間です。
光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70％に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

※40000時間は、寿命を保証するものではありません。

お手入れのしかた　お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水（中性洗剤）を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障？と思われたら

■ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
■下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。
■なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
■形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

症状	主な原因	処置方法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	7ページ「4. 電源を接続する」を参照してください。
	照明器具の壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをONにしてください。
点灯しない時がある	リモコンでOFFにした後、壁スイッチにて約2秒以上かけてゆっくりOFF/ONしている。	2ページ「点灯順序」を参照してください。
勝手に点灯・消灯する	上図のように留守タイマーマーク及びおやすみタイマーマークが表示されている。	11ページ 留守タイマーまたはおやすみタイマーそれぞれの「解除方法」を参照してください。
明るさが勝手に変わる 点灯モードが勝手に変わる	デモモード機能状態となっている。	5ページ「デモモードの解除方法」を参照してください。
留守タイマー・おやすみタイマーが動作しない	リモコンがホルダーに入っていない。	9～11ページを参照してください。
	リモコンが信号の届かない場所に置かれている。	

症状	主な原因	処置方法
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがOFFになっている。	7ページ「4. 電源を接続する」を参照してください。
	リモコンの電池が少なくなっている。	3ページ「使用上のご注意」を参照のうえ、電池を交換してください。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。	4ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照してください。
	チャンネルスイッチが合っていない。	7ページ「5. チャンネルを設定する」を参照してください。
液晶表示がでない	リモコンの電池が少なくなっている。	3ページ「使用上のご注意」を参照のうえ、電池を交換してください。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。	4ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照してください。
ホタルック機能が動作しない	常夜灯ユニットの残光スイッチが「切」になっている。	8ページ「6. ホタルック機能を設定する」を参照してください。

NEC 照明器具
LEDシーリングライト
保証書添付　保存用　**取扱説明書**

- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。
⚠注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
🛇：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

- 器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。
- 風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。
- 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取り付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。
- 電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

⚠注意

- 器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。
- この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は屋内用です。5℃～35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。

使用時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。
- お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。
- 光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

⚠注意

- **壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。**
- お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。
- 万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。
- 暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。（この製品は5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。）
- 照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。

NECライティング株式会社
東京都港区芝1-7-17
〒105-0014　http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

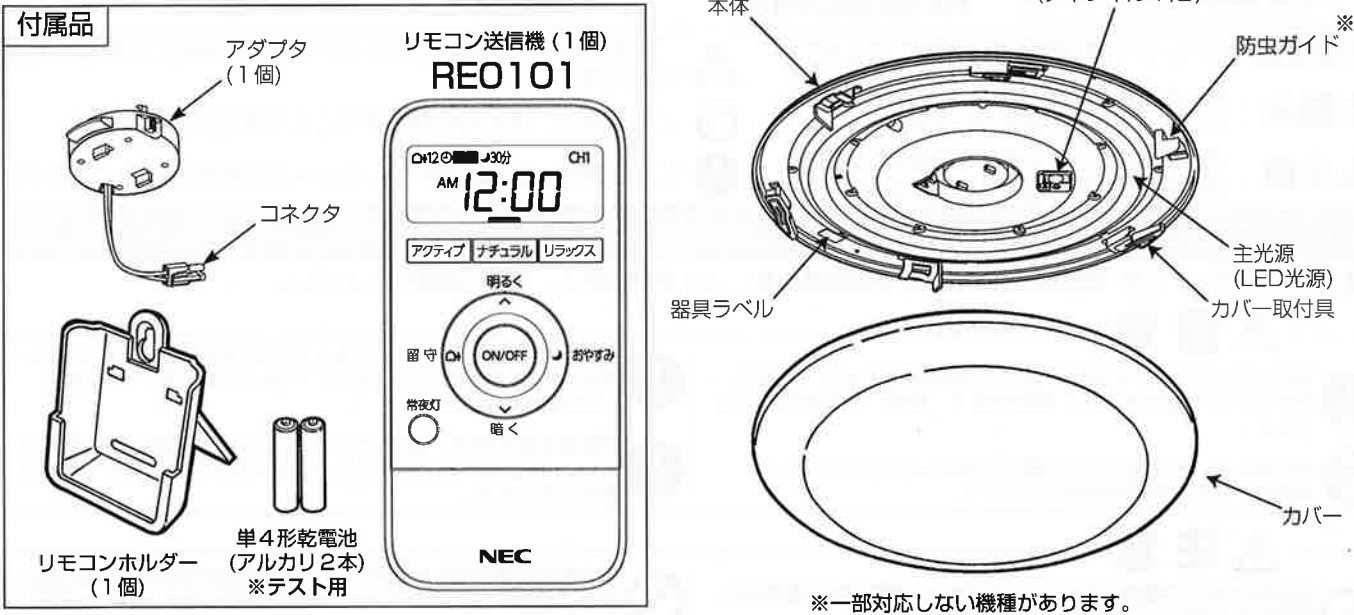
※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

付属品

本体
常夜灯ユニット
〈リモコン＆ホタルック機能切替スイッチ付き〉
（チャンネル1,2）
※ 防虫ガイド
主光源
（LED光源）
器具ラベル
カバー取付具
カバー

※一部対応しない機種があります。

〈機能紹介〉

機能	内容	機能	内容
壁スイッチコントロール機能（2ページ）	壁スイッチの動作で明るさを切り替えることができます。	リモコン機能（5・8ページ）	リモコン送信機で主光源の点灯や消灯等の操作ができます。
液晶表示（4ページ）	①現在時刻表示 ②留守タイマーセット表示 ③おやすみタイマーセット表示 ④現在のCH表示 ⑤現在の点灯モード表示	留守タイマー機能（9~11ページ）	お好きな時間に照明器具を自動で点灯、消灯できます。
		おやすみタイマー機能（11ページ）	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLEDを自動で消灯させることができます。

〈ホタルック機能（7ページ）〉

リモコンまたは壁スイッチにて消灯させたとき、淡いブルーグリーンの光でお部屋を照らします。（約2～3分間）
ホタルック点灯は、下記いずれかの方法で主光源または常夜灯を消灯した場合、自動的に作動します。

○リモコンで消灯したとき　○壁スイッチで消灯したとき　○停電によって消灯したとき

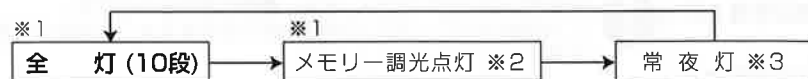
- ホタルック点灯は約3分の間に徐々に暗くなり、自然に消灯します。
- ホタルック機能が不要な場合は、常夜灯ユニット（器具本体側）の残光スイッチを「切」にしてください。（7ページ）
  ※ホタルック機能の「入/切」の操作はリモコンで行うことはできません。

点灯順序

リモコン送信機での操作方法は、5・8ページをご覧ください。

壁スイッチコントロール機能（壁スイッチで点灯状態を切り替える場合）

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF→ONすることにより次のように点灯順序が切り替わります。

※1 全　灯（10段） → ※1 メモリー調光点灯 ※2 → 常 夜 灯 ※3

注1）リモコンで消灯した場合に、壁スイッチですばやくOFF→ONすると消灯する前の点灯状態によらずメモリー調光点灯に切り替わります。
注2）壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

※1…アクティブ／ナチュラル／リラックスのいずれかの点灯モードで点灯します。（点灯モードについての詳細は8ページをご覧ください）
※2…メモリー調光点灯は記憶された明るさ/点灯モード（消灯直前の点灯状態）で点灯します。
　（明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。）
　ただし、最後に使用していた明るさが全灯（10段）の場合は、記憶された点灯モードの明るさ5段で点灯します。
※3…常夜灯の明るさは最後に使用していた明るさになります。
※4…壁スイッチでは、点灯モードを切り替えることはできません。
　点灯モードを切り替えたい時は、リモコンの「点灯切り替えボタン(アクティブ/ナチュラル/リラックス)」で切り替えることができます。
※5…壁スイッチで操作した場合、照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なることがあります。
　その時リモコンの明るく/暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。

留守タイマーセット方法と解除方法

《セット方法》

留守設定前

AM 9:00 CH1 ― 現在時刻を表示

留守１セット

留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー1がセットされます。

AM 6:00 → 2秒後 → AM 11:00 → 2秒後 → AM 9:00

設定済みの留守1のON時刻又は未動作（-:--）を表示 / 設定済みの留守1のOFF時刻又は未動作（-:--）を表示 / 現在時刻を表示（留守タイマーセット1表示が点灯します）

留守ボタン

留守2セット

留守1をセットしている状態で留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー2がセットされます。

PM 5:00 → 2秒後 → PM 11:00 → 2秒後 → AM 9:00

設定済みの留守2のON時刻又は未動作（-:--）を表示 / 設定済みの留守2のOFF時刻又は未動作（-:--）を表示 / 現在時刻を表示（留守タイマーセット2表示が点灯します）

留守1・2セット

留守2をセットしている状態で留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー1と留守タイマー2がセットされます。

AM 6:00 → 2秒後 → AM 11:00 → 2秒後 → PM 5:00 → 2秒後 → PM 11:00 → 2秒後 → AM 9:00

設定済みの留守1のON時刻又は未動作（-:--）を表示 / 設定済みの留守1のOFF時刻又は未動作（-:--）を表示 / 設定済みの留守2のON時刻又は未動作（-:--）を表示 / 設定済みの留守2のOFF時刻又は未動作（-:--）を表示 / 現在時刻を表示（留守タイマーセット1・2表示が点灯します）

《解除方法》

留守セット解除

留守1・2をセットしている状態で留守ボタンを押すと解除できます。

AM 9:00 CH1

必ず液晶画面中に ⌂12 ⊙ 入切 マークの表示が消えていることを確認し、解除できていることをお確かめください。

おやすみタイマー設定方法と解除方法

〈おやすみタイマー機能〉

30分後又は60分後に主光源を自動で消灯させることができます。

《設定方法》

おやすみタイマー設定されていない状態で

おやすみボタンを1回押すと、60分おやすみタイマーが設定されます。

《液晶表示》 PM 12:00 60分 CH1 ― おやすみタイマー表示の場所に60分と表示

おやすみタイマー設定されていない状態で

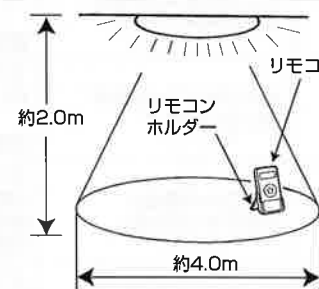
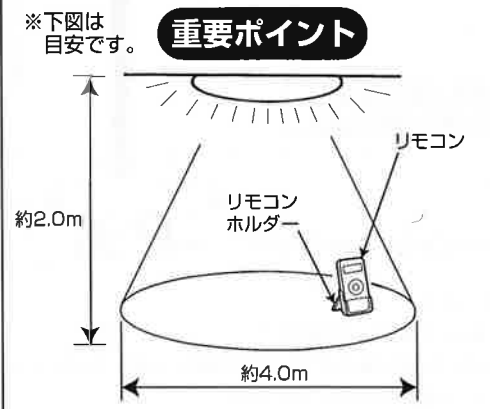
おやすみボタンを3秒以内に続けて2回押すことにより30分おやすみタイマーが設定されます。

PM 12:00 30分 CH1 ― おやすみタイマー表示の場所に30分と表示

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

重要ポイント

※右図は目安です。

おやすみタイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。

主光源を消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

●チャンネルスイッチがCH1の場合

常夜灯を点灯させておきたいときにご使用ください。

※必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

点灯 → オフ(消灯)時間 消灯(常夜灯点灯) → 5分後 → ホタルック点灯 → 約3分後 → 消灯

常夜灯を消灯させたいときにご使用ください。

《解除方法》

おやすみタイマー設定された状態で

おやすみボタンをさらに1回押すと、おやすみタイマーが解除されます。

必ず液晶画面中に 30分60分 マークの表示が消えていることを確認し、解除できていることをお確かめください。

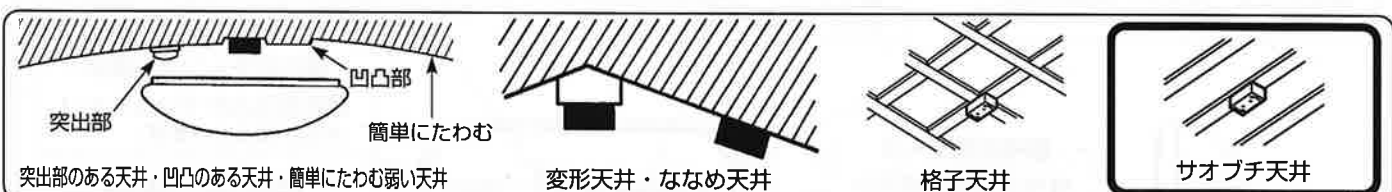
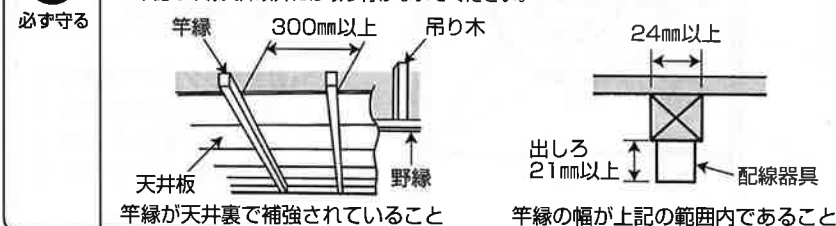
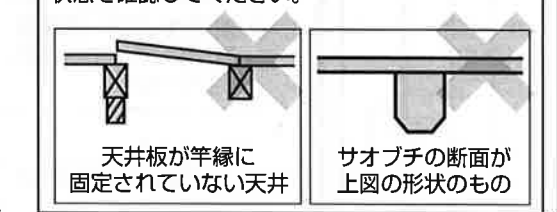
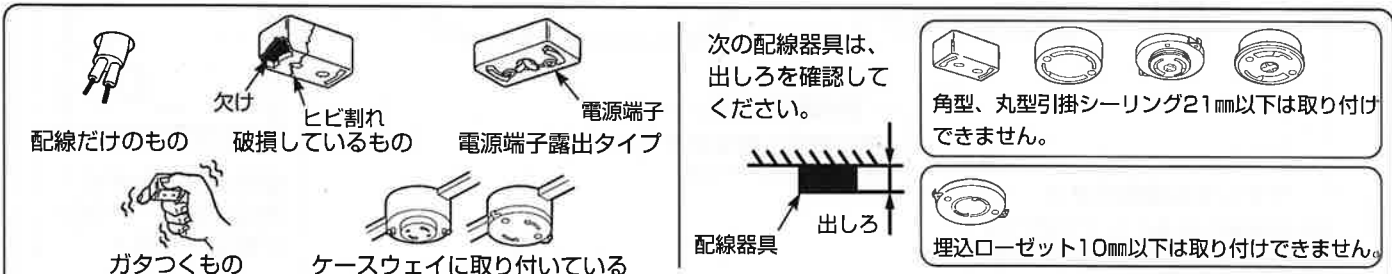
留守タイマー時刻設定例

※画面は表示例です。実際の表示と異なる場合があります。

使用上のご注意

■本体を分解したり、改造しないでください。
　火災などの原因になります。
■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ビシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
■防虫ガイド対応器具は、従来の密閉型器具に比べて虫が入りにくくなっています。
■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
　また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。壁スイッチ ON 及び停電復帰後は、壁スイッチを切る前又は停電前の状態にもどります。
■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは停電前の状態にもどります。
■この器具はリモコンスイッチで消灯しても電源回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
■３Ｄテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
■３Ｄテレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
　リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
　＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。
■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
■おやすみタイマ機能、留守タイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。
■アルカリ乾電池をご使用ください。
　マンガン乾電池をご使用の場合は、電池の寿命が短くなる。また送信距離が短くなる、および液晶が表示されない場合があります。
　　電池寿命の目安（１日 10 回使用の場合）
　　　アルカリ乾電池　　約６ヶ月
■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
■乾電池は、単４形乾電池をご使用ください。
■乾電池は、＋・－の極性を正しく入れてください。
■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
　外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

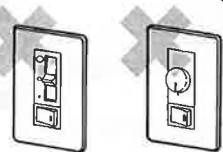
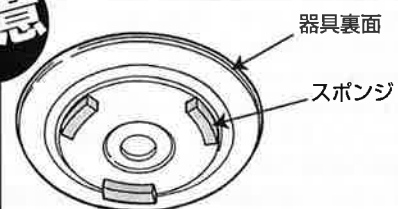
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意

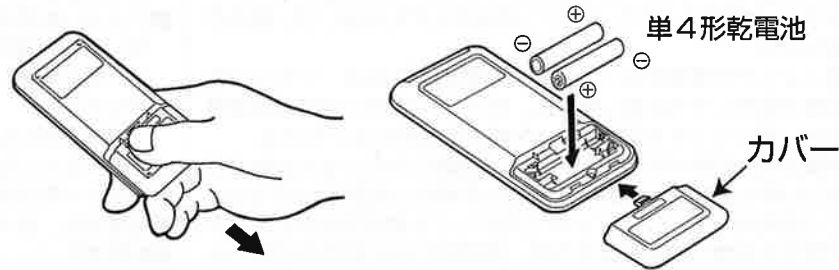
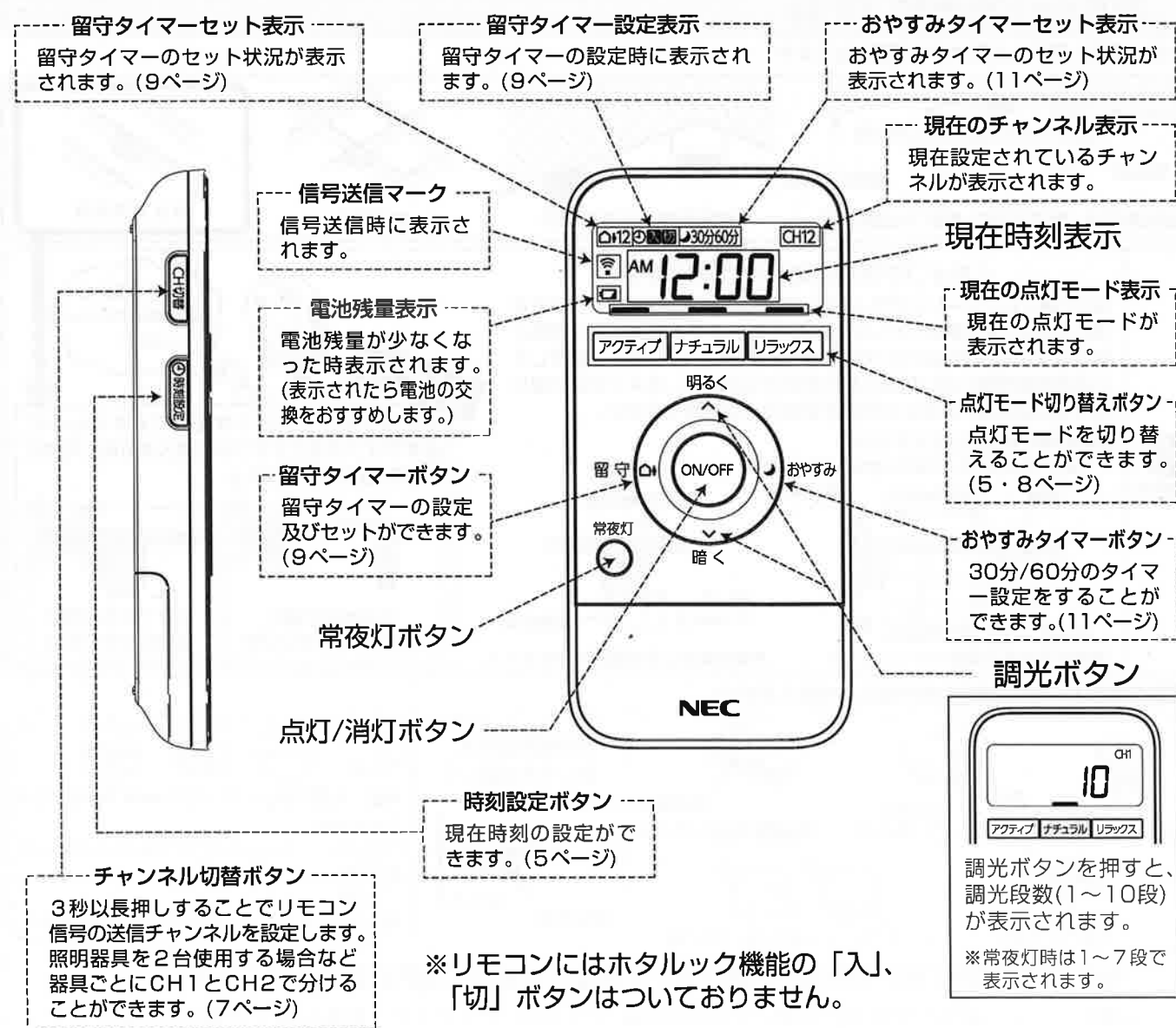
本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）

《調光器付壁スイッチ代表例》

器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。

リモコンの電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
   ※無理にカバーを押さえたりすると、カバーツメ破損の原因となります。
2. 単４形乾電池２本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

リモコンの名称

※リモコンにはホタルック機能の「入」、「切」ボタンはついておりません。

留守タイマーの時刻設定方法

《留守タイマー機能》

お好みの時間に主光源を自動で点灯、(消灯→点灯）させることができます。また、２種類(留守１、留守2)の設定を登録させておき毎日同じ時間に動作させることができます。

設定をまちがえた場合 設定の途中で操作を取り消すことはできません。一度設定を完了させてから再度設定しなおしてください。

注）電池交換した場合、留守タイマー設定がリセットされますので再度設定を行ってください。

留守タイマー時刻設定方法

①：留守ボタンを留守設定表示が点滅するまで長押しする。
液晶画面が右図のように表示され留守設定１が点滅します。

※○は点滅状態を示しています。

②：明るく/暗くボタンで留守設定番号(留守1/留守2)を選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の留守設定表示の点滅が右図のように切り替わります。
留守１を選択する場合 →⌂1 を点滅させます。
留守２を選択する場合 →⌂2 を点滅させます。

③：ON/OFFボタンを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）と🕘入 が表示され「AM」、「PM」又は「－：－－」表示が点滅します。

④：明るく/暗くボタンで自動点灯をする又は自動点灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の「AM」、「PM」、「－：－－」の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に点灯させる場合に選択します。
午後の時刻に点灯させる場合に選択します。
自動点灯しない場合に選択します。→⑦項へ

⑤：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑥：明るく/暗くボタンで点灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで点灯させたい時刻に合わせる

明るく/暗くボタンを押すと１分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑦：ON/OFFを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）と🕘 切 が表示され「AM」、「PM」又は「－：－－」表示が点滅します。

⑧：明るく/暗くボタンで自動消灯をする又は自動消灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の「AM」、「PM」、「－：－－」の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に消灯させる場合に選択します。
午後の時刻に消灯させる場合に選択します。
自動消灯しない場合に選択します。→⑪項へ

⑨：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑩：明るく/暗くボタンで消灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで消灯させたい時刻に合わせる

明るく/暗くボタンを押すと１分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑪：ON/OFFを押す。（これで留守タイマーの設定は完了です。）
液晶画面が右図のように現在時刻表示画面に戻り、②で選択した留守設定番号（⌂1 又は ⌂2）が表示されます。

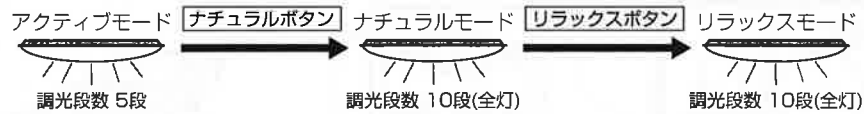
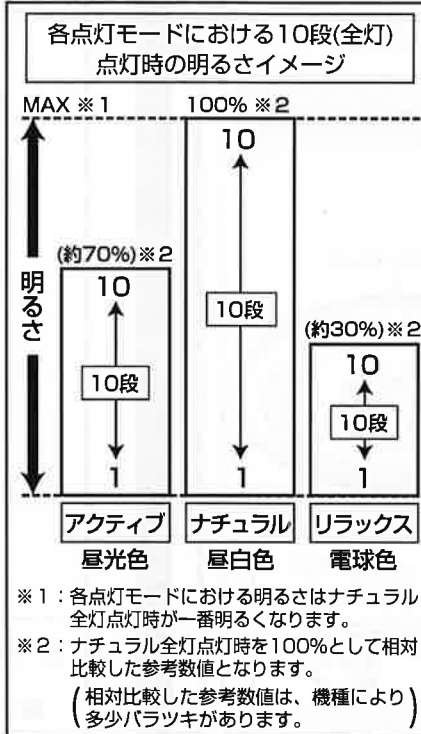
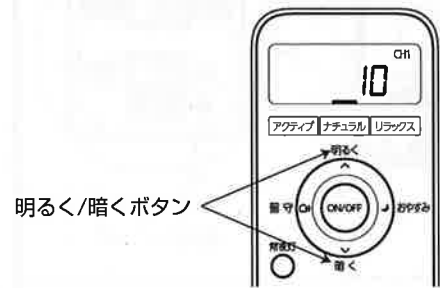
注1）同じ留守設定番号で自動点灯しない、自動消灯しないを設定した場合でも、その留守設定番号は表示されます。
注2）同じ留守設定番号で自動点灯/自動消灯の時刻を同じにすることはできません。（設定しようとすると「Err」の表示がされます。）
注3）自動点灯を設定した場合、記憶された明るさで点灯します。（明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。）
注4）壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

点灯状態切替の操作方法

点灯モードを切り替えたい時

点灯モード切り替えボタン(アクティブ／ナチュラル／リラックス) を押すと現在の点灯モードが表示され、各点灯モードの調光段数10段(全灯)で点灯します。

※常夜灯及び消灯時に記憶している点灯モードと同じ点灯モード切り替えボタンを押すと記憶している明るさで点灯します。
(常夜灯・消灯前に点灯させていた点灯モード及び明るさを自動的に記憶しています。)

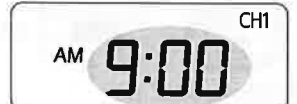
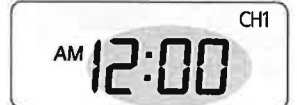
注1) 各モードで点灯している時に同じ点灯モード切り替えボタンを押しても変化しません。
注2) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてからリモコンでの操作を行なってください。

明るさを変えたい時

■明るく／暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。
1段(10%) ←————→ 10段(全灯)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■明るく／暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。
1段(10%) ←→ 2段 ←→ 3段 ←→ ・・・ 9段 ←→ 10段(全灯)
ボタンを押すごとに1段ずつ変化します。

注) リモコンが常夜灯を操作する状態になっていると、明るさは7段以上にはなりません。

※常夜灯も調光することができます。
明るく／暗くボタンを長押しすると1段 ←→ 7段 で連続で調光します。
短押しすると1段 ←→ 2段 ←→ ・・・ 6段 ←→ 7段 で1段ずつ調光します。

注1) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時のみ「ピッ」と音がなります。
※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時のみ「ピッ」と音がなります。
注2) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時に明るく／暗くボタンを押しても明るさは変化しません。
※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時は、明るく／暗くボタンを押しても明るさは変化しません。
注3) 照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なっている場合、リモコンの明るく／暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。
注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください

時刻の合わせかた

時刻設定ボタンをAM/PM表示が点滅するまで長押ししてください。
※右図液晶画面の ◯ は、点滅状態を示しています。

明るく/暗くボタンを押して、AM/PMを選びます。
(例として午前9時の設定をします。)

AM/PMが決まれば ON/OFF ボタンを押します。

AM/PMが決定され、時刻表示が点滅します。

明るく/暗くボタンを押して、希望の時刻に合わせます。
明るく/暗くボタンを押すと時刻が1分単位で変化し、長押しすると時刻が10分単位で変化します。

時刻が決まれば ON/OFF ボタンを押します。

時刻の点滅が停止し、時刻が設定されました。

注) 設定を間違えた場合/設定の途中に他の操作を行いたい場合
設定の途中で操作をやりなおすことや他の操作を行なうことはできません。
一度設定を完了させてから再度設定及び他の操作を行ってください。

時刻設定前

AM? PM?

時刻設定

時刻設定完了

リモコンの操作方法

点灯/消灯させたい場合

ON/OFFボタンを押すと点灯/消灯します。
(点灯時は記憶された明るさ/点灯モードで点灯します。)
※ON/OFFボタンで消灯する際、ゆっくり消灯していきます。

常夜灯を点灯させたい場合

常夜灯ボタンを押すと、常夜灯のみ点灯します。

調光させたい場合

明るく/暗くボタンを押すと1～10段調光が1段ずつできます。(常夜灯時は1～7段の調光)

点灯モードを切り替えたい時

アクティブ：アクティブボタンを押すと昼光色(白い光)で点灯します。【アクティブモード】

ナチュラル：ナチュラルボタンを押すと昼白色(昼光色＋電球色)で点灯します。【ナチュラルモード】

リラックス：リラックスボタンを押すと電球色(暖かい光)で点灯します。【リラックスモード】

※点灯モードが切り替わる場合は、明るさが全灯(10段)状態になります。

詳細及びその他の機能は8～11ページを参照してください。

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

《デモモードの解除方法》

注) LED光源ユニットが調光・点灯モードの切替を繰り返す場合は、デモモード機能状態になっています。(故障ではありません)

〈解除方法〉
1. 壁スイッチにて電源を切る。(壁スイッチが無い場合は、器具からアダプタのコネクタを抜いてください。)
2. 器具本体側チャンネルとリモコン送信機チャンネルを「2」に合わせてください。
3. 電源を切ってから30秒以上経過後、再度電源を入れてください。
4. 電源を入れてから、5秒以内にリモコン送信機を器具に向けた状態でボタンを右図の順番に押してください。
「ピピピッ」という音が鳴り、デモモードが解除されます。
※「ピピピッ」という音が鳴らない場合は、上記作業を1. から再度行ってください。

器具の取付方法　器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

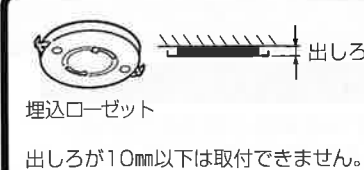
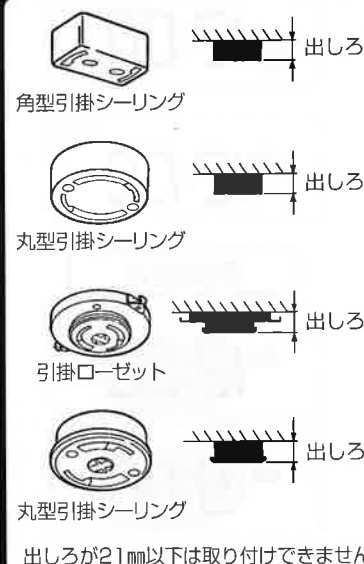
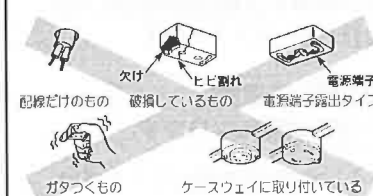
取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けるする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

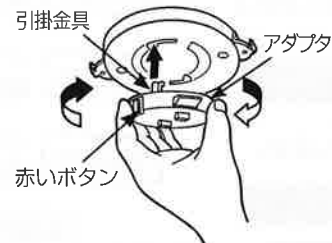
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。
器具が落下する恐れがあります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

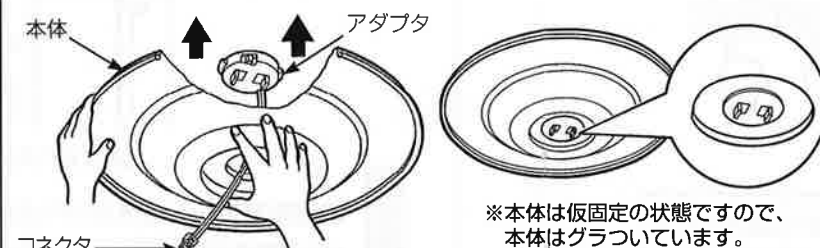
⚠警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

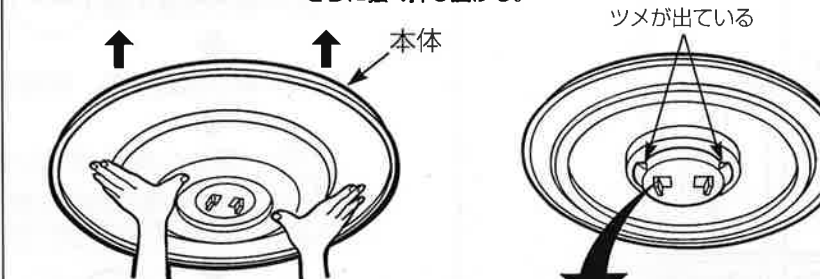
3. 本体を取り付ける

①1段押上げ (仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラつしています。

⚠警告　まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント　②2段押上げ (取付完了)

さらに強く押し上げる。

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ (2ヶ所) が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

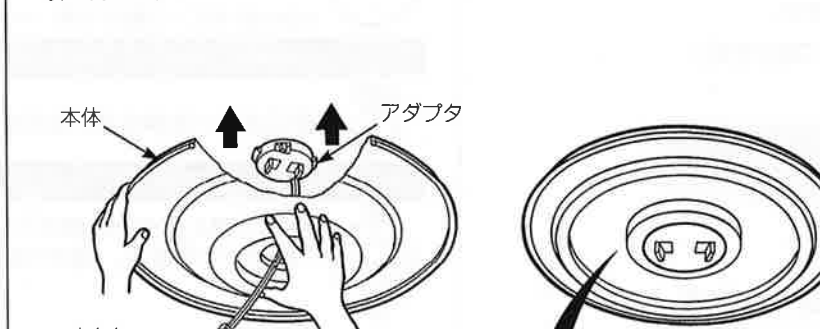
⚠警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

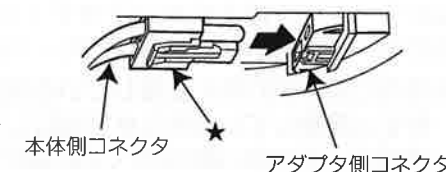
①1段押上げ (取付完了)

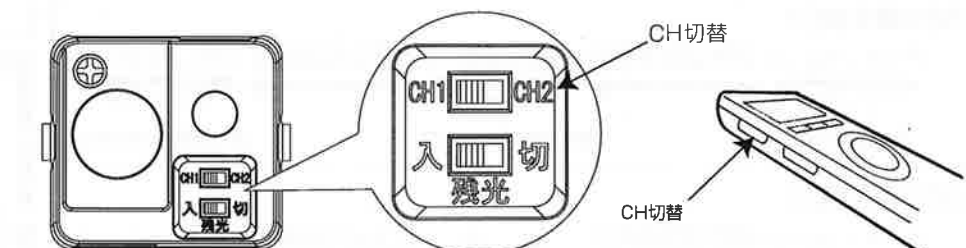
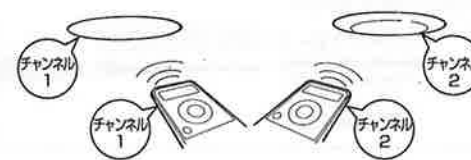
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

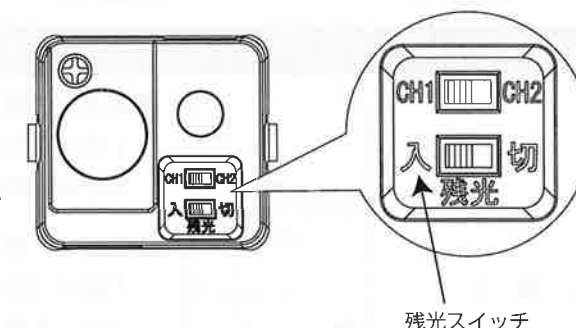
4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

■1台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。)

■2台の器具を別々に操作する場合
(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、
もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6. ホタルック機能を設定する

■ホタルック機能を使用する場合
残光スイッチを「入」にすることで使用可能となります。
(出荷時は、残光機能が「入」となっています。)

■ホタルック機能を使用しない場合
残光スイッチを「切」してください。
注)「切」にした場合、停電時もホタルック機能が動作しないため、「入」にしておくことをおすすめします。

7. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印(⚠)にカバーの警告(⚠)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「3. 本体を取り付ける」に従って本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告　**落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

※カバーを取付けずに点灯するのはおやめください。